

## 1. 案件の概要

### (1) 案件名

(和文) 令和2年度国別研修ネパール「算数教育の質の向上」

(英文) Improvement of Quality of Mathematic Education

(2) 履行期間 令和2年10月19日～令和3年1月29日

(受入期間 令和3年1月11日～令和3年1月29日)

(3) 研修員数 12人

(4) 国立大学法人 鳴門教育大学 研修コースリーダー 石坂 広樹

## 2. 案件目標（アウトカム）と単元目標（アウトプット）の達成度

### (1) 案件目標（アウトカム）

「小学校1年生～3年生の基本的な算数能力が向上する」というプロジェクト目標を達成するために本件研修を通じて日本における算数カリキュラム・教科書の開発・改定の理論・手法・プロセスを理解し、研修員が研修で得られた知識とスキルを活用できるようになる。

指標： 研修員が本邦研修終了時に小学校1年生～3年生の算数教育に係るカリキュラム案・教材案などを含むアクションプランを提出し、研修員の帰国後に所属組織の中で共有される予定になっている。

### (2) 単元目標（アウトプット）

単元目標①：日本の教育システムや地方（県）での現職教員研修の計画と実施方法について理解する。

指標： 研修終了時の発表・提出において算数カリキュラムの改定案や教員研修案などを含んだアクションプランや最終レポートが提示される。その内容作成に当たって研修員の携わり方・貢献度について4段階評価でB（やや優れている）以上。

単元目標②：日本の算数教育の手法や授業研究などの校内研修について理解する。

指標： 研修終了時の発表・提出において算数授業・教材案、研修内容の提案が提示される。その内容作成に当たって研修員の携わり方・貢献度について4段階評価でB（やや優れている）以上。